

～森の保全を考える日～

みんなで水辺林整備活動

主催：物部川 21 世紀の森と水の会

山の手入れは、ふるさとの自然環境保全には欠かせないもの



目指す水辺林

2019.02.24 みんなで水辺林整備活動の一コマ

森と川は密接なつながりがあり、豊かな森に育まれた流れは、河川形態も水量、水質も安定し、多様性豊かな動植物資源に恵まれています。また、その水辺は、生き物にも優しく、人々に安らぎ感を与えてくれます。

しかしながら、流域の自然環境の現況は、全般的に山はやせ、川は細り、清流を海へと運ぶ力が弱ってきています。森林組合も河川、海区の漁業協同組合も頑張っていますが、悪循環は否めません。後世に豊かな自然環境を引き継ぐには、何とかせなあいかん課題だと思います。

そのためには、かかわりのあるものみんなが現場に足を運び、理解を深め、共に歩む姿勢を持つことが必要です。“山が元気なら里も元気、川も海も元気になる。” 私たちは森林保全の重要性を流域住民が体感できる、そんなフィールドづくりが大事ではないかと考え、水辺林整備の事業化を願い、啓発活動を続けています。

寒い季節ではありますが、日々山で働く人たちといっしょに体を動かし、流域のあるべき姿を意識してみませんか。

開催日時：令和2年2月23日（日）

◇◇◇ 募集定員：25名程度 ◇◇◇

活動場所：香美市香北町美良布 香北の自然公園の隣（アンパンマンミュージアム南側）

集合場所：国道195線を上流へ杉田ダム、橋川野を通り過ぎ、さらに1km位進むと、右手にJAの香北農機センターがあります。その先を右折して道なりに上っていただくと現地（市有林）に着きます。自然公園表示看板が国道の左右にあります。

時間割：9時集合～安全祈願（山の神祭り）・間伐作業～12時～昼食と交流～13時半～間伐作業～15時半～後片付け・わかちあい～16時頃解散 昼食時は豚汁まかない予定

持ち物・服装ほか

- ・滑りにくい靴・長袖長ズボン必須。持ち物は**お弁当・飲み物・タオル・着替え**等です。
ノコギリ等の道具類、ヘルメット、手袋などはこちらで構えます。

申し込み・お問い合わせ 令和2年2月21日（金）までに下記までお申し込み下さい。

（担当：常石）☎：090-4784-5707 メール：mori_kawa_tune@yahoo.co.jp

この事業は、高知県清流保全パートナーズ協定事業寄付金を活用しています。